



平成21年12月25日

各 位

会社名 エスベック株式会社  
代表者 代表取締役社長 進 信義  
(コード番号 6859 東証・大証第1部)  
問合せ先 常務取締役 廣 信義  
(TEL. 06 - 6358 - 4741)

## 経営合理化の取り組み（追加施策の実施）に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、現在の事業状況および今後の経営環境を考慮し、下記のとおり経営合理化の追加施策の実施を決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 経営合理化施策を実施する理由

当社は、平成21年3月11日に開示しました「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」の事業構造改革と収益構造改革を強力に推進し、計画を上回る固定費を削減いたしました。売上高減少の影響を吸収するには至らず、遺憾ながら第2四半期累計期間において営業損失および四半期純損失となりました。この状況を改善すべく、平成21年11月13日付の「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、連結子会社2社を当社へ吸収合併することとし、これを柱とした経営合理化の追加施策を以下のとおり実施することといたしました。

#### 2. 追加施策の概要

##### (1) 企業構造改革について

###### 連結子会社の吸収合併

「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」（平成21年11月13日付）にて開示しましたとおり、連結子会社であるエスベックエンジニアリング株式会社とエスベックテストセンター株式会社を平成22年4月1日付にて吸収合併することといたしました。

これにより3社の営業機能を一本化することで顧客サービスの向上を図るとともに、組織のスリム化・効率化および固定費の削減を推進します。

###### 中国・アジア地域の事業体制の強化

中国を中心とするアジアの関係会社につきましては、香港の連結子会社E S P E C ( C H I N A ) L I M I T E Dが統括することで、中国・アジア地域における事業体制の強化を図ってまいります。なお、本件につきましては、詳細を決定次第、開示基準に従って速やかにお知らせいたします。

## (2) 収益構造改革について

### 事業拠点の統廃合

これまで東京・京都の営業拠点の移転・閉鎖や京都久御山工場および綾部ロジスティックセンターの閉鎖などを実施いたしました。連結子会社2社の吸収合併に伴い、営業・サービスなどの拠点統廃合について改めて検討するなど事業費用の圧縮を進めてまいります。

主な閉鎖事業所は、横浜R&Dセンター（横浜営業所・横浜試験所）、さいたま営業所、松本営業所となっております。

なお、事業所閉鎖により特別損失が発生するなど業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

### 役員報酬・管理職給与の減額拡大と一般社員賞与の減額

平成20年9月より役員・社員の報酬・給与等の減額を随時進めてまいりましたが、来年度より役員報酬・管理職給与と一般社員賞与について、さらに減額することいたしました。

なお、一般社員に対する施策については、昨日、労働組合からの承諾を得ております。

### 一時帰休の再開

今年度に設計・生産部門を中心に一時帰休を一定期間実施いたしました。正社員の一部（連結で約50名）について、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間に亘る一時帰休を実施いたします。

### 準社員の契約期間満了時における契約更新の見送り

昨年度に派遣労働者の契約期間満了による解約を実施いたしました。さらに準社員である嘱託社員・契約社員・パートタイマー（連結で約100名）につきましても、契約更新を見送る方針といたしました。

## 3. 今後の見通し

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月11日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますが、今後、この経営合理化追加施策等により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

以上